

金融庁・CDP 共催 「金融機関のスコープ3」オンラインセミナー

～投融資ポートフォリオの脱炭素化へ向けた最新動向：

## PCAF、TCFD、金融 SBT

金融機関が自らの投融資先の排出量(financed emissions)を計測し、開示することは、TCFD 開示の観点、そしてスコープ3 開示の観点から、必要性が高まっています。投融資先の排出量の算定については、GHG プロトコルと連携した PCAF (Partnership for Carbon Accounting Financials)がグローバルスタンダードとなりつつあります。2021 年 6 月に公表された金融セクターに関する TCFD のガイダンスでは、financed emissions の計測として PCAF 基準に沿った手法が提案されました。

この度、金融庁と CDP (PCAF パートナー) は、日本の金融機関向けに投融資先の排出量算定のメソッドロジーについて、セミナーを開催いたします。

TCFD における指標ワーキングの最新動向のアップデート、CDP 質問書における開示項目や開示状況、そして金融 SBT 等目標設定における投融資先排出量の活用、PCAF についての説明について、それぞれ専門的知見から解説いたします。

**主催：**金融庁/CDP Worldwide-Japan

**開催日：**2021 年 7 月 7 日 (水) 午後 3 時半～5 時

**開催方法：**オンライン (ZOOM)

**登録方法：**[こちら](#)から

**詳細：**日本語への同時通訳あり、参加無料

**協賛：**ソコテック・サーティフィケーション・ジャパン株式会社

### アジェンダ (予定)

(敬称略)

- 15:30 – 15:35 金融庁からのご挨拶  
金融庁 チーフ・サステナブルファイナンス・オフィサー 池田 賢志
- 15:40 – 15:55 TCFD Metrics Working Group のアップデート  
東京海上ホールディングス フェロー (国際機関対応) 長村 政明  
⇒[資料](#)はこちら
- 15:55 – 16:05 投融資先排出量の測定・開示 とその先に向けて  
CDP ジャパン シニアマネージャー 高瀬 香絵  
⇒[資料](#)はこちら
- 16:05 – 16:25 PCAF: Enabling financial institutions to assess and disclose financed emissions

(英語、同時通訳付き)

Giel Linthorst, Executive Director of PCAF Secretariat and Director Sustainable Finance at Guidehouse

⇒ [資料](#) (英語) はこちら

⇒ [資料](#) (日本語訳) はこちら

16:25 – 16:40 金融機関のスコープ3 (カテゴリー15) の測定について

MS&AD ホールディングス 総合企画部財務企画室 課長 紀 幸孝

⇒ [資料](#) はこちら

16:40 – 17:00 質疑応答

⇒ [資料](#) はこちら

全体録画: [こちら](#) から

PCAF 講演の日本語通訳録画: [こちら](#) から

質疑応答の日本語通訳録画: [こちら](#) から

金融機関の「スコープ3」、特に投融資ポートフォリオへの関心が高まっています。最近発行された [CDP レポート](#) によれば、CDP の質問書に回答した金融機関の金融活動に関連する平均排出量は、直接操業の平均排出量の 700 倍以上であることが明らかになりました。「ネットゼロ」に向けて、金融機関に求められる役割は更に重要性を増すと考えます。そのためには、金融機関が Financed Emission を測定・開示し、ターゲットを設定して削減を実行する必要があります。

今回のセミナーでは、その一連の動きについて、最先端の議論を紹介し、金融機関のポートフォリオ脱炭素化に向けての行動につなげたいと思っています。

皆様のご参加をお待ちしております。

金融庁

CDP ジャパン